

社会科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

- (1) 成果
- 実際に見学したことや動画視聴などの疑似体験を行ったことを活用して、調べた内容を工夫してまとめ新聞やパンフレット等の作品にすることができた。グラフや写真などの資料から社会的事象や社会背景、問題点を読み取る活動を増やし、資料を読み取る経験を多くもたせることができた。
- 学習単元の終わりでは、新聞やパンフレット等にまとめて発表する活動を通して、学習内容の定着を図ることができた。
- (2) 課題
- 四方位や等高線などの約束や、県名・県庁所在地、歴史上の人物名など社会的な用語や大切な言葉、キーワードなどを確実に覚え、その使い方や意味を正しく理解し、読み取ることに課題がある。
- 複数の資料を関連付けて読み取ることが難しく、読み取った内容を表現する点については苦手とする児童が多い。

2 観点ごとの実態、学習効果測定結果の分析

	3年	4年	5年	6年
知識・技能	・八方位や等高線、土地の使われ方について、資料や地図から情報を読み取ることが難しい。	・目標値を大きく下回っている。地図記号についての理解が十分ではなく、誤答が多い。資料やグラフを読み取ることに課題がある。	・目標値を大きく下回っている。水資源に関する事項や、ごみの処理など、身近な生活に関わる事象について理解することに課題がある。	・目標値を大きく下回っている。日本の地理や産業など、社会的な用語の意味や使い方を十分に理解できていない児童が多い。
思考・判断・表現	・大田区の様子で、自分が住んでいる地域以外の様子を捉え、場所による違いを考えたり表現したりすることが難しい。	・目標値を上回っている。資料に着目して、販売の仕事の工夫や生産の仕事の工夫を考える力がついた。	・目標値を大きく下回っている。複数の資料に着目して関連性を捉えたり、判断したりする力に課題ある。	・目標値を大きく下回っている。資料に着目して理由を考えたり、読み取った事実を関連付けたりすることに課題がある。
主体的に学習に取り組む態度	・地図や写真を見比べたり、地図から探したりすることは興味をもって取り組む。 ・区内見学では、興味をもって調べ、まとめることができた	・目標値とほぼ等しい。主体的に取り組む態度については、無回答児童の割合が一部いて、正答率が低い領域である。	・目標値を下回っている。主体的に取り組む態度については、無回答児童の割合が一部いて、正答率が低い領域である。	・目標値を下回っている。主体的に取り組む態度については、無回答児童の割合が一部いて、正答率が低い領域である。

3 課題と授業の改善策

		3年	4年	5年	6年
課題	知識・技能	・資料や地図に書かれている情報を読み取ること。 ・方位や土地の高さを意識すること。	・地図や資料から読み取る情報を増やすこと。	・都道府県の位置や特色、地形の様子について基本的な知識を身に付けること。	・社会的な用語や、地名、位置、産業の特色など、基本的な知識を身に付けること。
	思考・判断・表現	・白地図などを活用して、調べたことや分かったことを効果的にまとめたり表現したりすること。	・グラフに着目して読み取ること。得た情報を整理したり、特徴を読み取ったりすること。	・資料に着目して、グラフや年表を読み取ったり、関連性を捉えて考えたりすること。	・資料に注目して事実を読み取ったり、関連性や背景を捉えて考察したり、記述したりすること。
	主体的に学習に取り組む態度	・自分自身の生活経験と社会的な事象を、つなげて捉えたり興味をもったりすること。	・自分自身の生活経験と社会的な事象を、つなげて捉えたり興味を高めたりすること。	・一人一人が提示された資料やグラフから問いをもって、主体的に学習問題を解決していこうとすること。	・複数の資料を読み取り、表現しようとする意欲を高めること。
授業の改善策	知識・技能	・実際に見たり、話を聞いたりする活動を多く行い、体験に基づいた理解を図るようにする。 ・方位磁針を活用して方位を確かめる。	・授業の導入で、地図帳を使い地図記号を確認したり地名クイズをしたりして地図を読むことを習慣にし、定着を図る。	・授業の導入で、世界地図や日本地図を使って日本地図クイズをペアで行う。 ・単元終わりに毎回、学習内容を自分でまとめる時間をとる。	・家庭学習で地名プリントや復習プリントを使用し、知識の確実な定着を図る。 ・単元終わりに毎回、学習内容を自分でまとめる時間をとる。
	思考・判断・表現	・授業の中で、地図や写真を活用することで、読み取る力を高める。 ・白地図やグラフなどを効果的に活用してまとめる活動を行う。	・資料の着眼点を明確にし、内容を分類・整理したりする活動を取り入れる。特にグラフから読み取ったことや自分の考えをまとめる活動を行う。	・明確な1時間のめあてをもたせ、資料や写真から分かることをまとめる時間を確保し、自分の考えをまとめる活動を行う。	・授業で分かったことや学習問題の答えなどをノートやプリントにまとめる活動を徹底し、文章で表現する力を伸ばす。

	主体的に学習に取り組む態度	・実際に見学したり体験したりすることで社会的な事象に対する関心を高め、調べたりまとめたりする活動に対する意欲を高める。	・社会的事象への関心、探求心が高まるよう、学習課題との出会いを大切にする。児童の疑問をもとに学びをすすめ、身近な事柄が社会的事象とつながっていることのおもしろさを味わえるようにする。	・資料提示を工夫して、児童主体で学習問題を作る。学習問題に対して学習の見通しをもたせることで、主体的に学習に取り組む態度を養う。	・政治の仕組みや働き、興味のある歴史人物や遺産について、具体的な調べ学習や動画の視聴を行い、主体的に調べる態度を養う。
--	---------------	---	---	--	---